

最近の主な取組について(事務局)

第24回スルッとKANSAIバスまつりでバリアフリー教室を開催

協力：社会福祉法人ぼんがぼん、京都京阪バス株式会社

令和6年6月9日（日）京都市下京区にある梅小路公園において、バスまつり来場者（主に小学生の親子連れ）を対象に、京都京阪バス株式会社様の宇治茶バスを使用して、バリアフリー教室を開催しました。

バリアフリー教室では、バスのバリアフリーの工夫を聞いたり、本教室に協力いただいた障害当事者講師（車椅子使用者）の六條さんと京都京阪バス株式会社様によるバスの乗降実演や六條さんとの交流を行いました。また、視覚障害の擬似・介助体験も行い、お手伝いの必要性や障害への理解を深めました。

参加者からは、「体験をして、気持ちを知ることが出来ました」「こまっている人がいたりしたらたすけてあげたいです」など様々な感想が寄せられました！

令和6年6月9日（日）12:15～13:00

【内容】

- 挨拶
- ノンステップバスの説明
- 車椅子のバス乗降・固定見学
- バスのバリアフリーの工夫紹介
- 心のバリアフリーについてのお話
- 六條さんへの質問
- 視覚障害疑似体験及び介助体験
- 記念撮影

車椅子のバス乗降等見学

バス乗車→車椅子固定→降車の様子を見学。バスのバリアフリーの工夫等も学びました。



六條さんへの質問

様々な質問があり、実体験を基にした貴重なお話を聞くことができました。



電動車椅子を押してみよう

六條さんが使用している100kg超えの電動車椅子。実際に押してみても重さを実感。



視覚障害疑似体験・介助体験

アイマスクと白杖を使い、介助役の手引きで、バス乗車→椅子に座る→降車ボタンを押す→降車を体験。



令和5年度 開催実績 15件 (内訳：大阪2、京都3、兵庫2、奈良4、滋賀2、和歌山1)

開催地	場所(イベント名)	日程	対象	参加人数	先生	主催
兵庫県 神戸市	神戸市交通局 西神車庫 (バスまつり)	6月11日	イベント来場者 (お子様連れファミリー)	21名	-	近畿運輸局
大阪府 藤井寺市	大阪府立 藤井寺工科高等学校 (定時制)	7月20日	高校生(定時制)	14名	9名	近畿運輸局
滋賀県 守山市	ピエリ守山 (バスの日まつり)	9月2日	イベント来場者	-	-	滋賀運輸支局
大阪府 高槻市	高槻市立 芝谷中学校	①9月20日, ②1月上旬, ③2月9日	中学生	30名程度	2名	近畿運輸局
滋賀県 竜王町	滋賀県交通安全フェア	10月7日	イベント来場者	-	-	滋賀運輸支局
和歌山県 和歌山市	和歌山市立 加太中学校	10月17日	中学生	49名	-	和歌山市社会福祉協議会
滋賀県 甲賀市	甲賀市立 甲南第三小学校	10月19日	小学生	8名	3名	近畿運輸局
京都府 宇治市	京都文教大学	①10月19日, ②10月26日, ③11月2日	大学生	25名	-	宇治市
奈良県 香芝市	香芝市立 関屋小学校	10月31日	小学生	69名	-	香芝市
奈良県 奈良市	奈良市立 帯解小学校	11月2日	小学生	16名	4名	近畿運輸局
京都府 相楽郡精華町	精華町立 精北小学校	11月10日	小学生	61名	-	精華町
兵庫県 姫路市	姫路市立 中寺小学校	11月30日	小学生	55名	6名	近畿運輸局
奈良県 大和郡山市	大和郡山市立 片桐西小学校	1月18日	小学生	80名	8名	近畿運輸局
京都府 長岡京市	長岡京市立 長岡第四小学校	1月30日	小学生	70名	-	長岡京市
奈良県 大和郡山市	大和郡山市立 矢田小学校	2月20日	小学生	76名	4~5名	近畿運輸局

【参加者感想】

- ・障害がある人が、とても大変なことに気付いた
困っている人がいたら、声をかけようと思った
- ・自分たちにできることはやりたい
- ・教室でただ聞くだけの学習ではなく、実際に体験することができて、相手の気持ちを考えたり、接し方を学んだりすることができ良かった

【啓発活動の輪を広げるための取組】

- ・できる限り多くの先生に参加を働きかけ、体験補助等にも積極的に先生が参加
- ・自治体にバリアフリー教室の資料を提供し、自治体主催でバリアフリー教室を実施
- ・学校の先生方が多数集まる会議でバリアフリー教室に関する資料を配付
- ・バリアフリー教室の保護者参観を実施



国土交通省は、平成24年3月より標準仕様ユニバーサルデザインタクシーの認定を行っていますが、移動等円滑化実績における直近のユニバーサルデザインタクシーの導入状況における地域格差を是正し、主に地方部での需要に緊急的に対応するため、令和6年4月1日付で当該認定要領を改正し、新たに認定レベル準1を追加しました。

令和6年4月、トヨタ自動車株式会社よりシエンタ、同年5月、同社よりノア・ヴォクシーを新しいユニバーサルデザインタクシーとして認定しました。



トヨタ自動車株式会社製 シエンタ ウェルキャブ仕様 タイプ1



「標準仕様ユニバーサルデザインタクシー認定制度」における認定レベル準1の認定を受けた車両における表示



(イメージ) ノア 車いす仕様 タイプ1 (車いす1名仕様)

国土交通省ホームページ

令和6年4月

https://www.mlit.go.jp/report/presentation/jidosha03_hh_000424.html



令和6年5月

https://www.mlit.go.jp/report/presentation/jidosha03_hh_000428.html



- ・ノア 車いす仕様 タイプ1(車いす1名仕様)
- ・ヴォクシー 車いす仕様 タイプ1(車いす1名仕様)
- ※いずれも、助手席側ユニバーサルステップ(メーカーオプション)装着車が対象
- ・認定レベルによって、スロープの耐荷重等仕様が異なりますので、ステッカーをご確認の上、ご利用ください。

近畿地方整備局 バリアフリー教室の実施

- 実際に身をもって体験することにより交通バリアフリーに対する理解を一層深め、道路空間の利便性・安全性のより一層の向上に努めていく事が重要と考え、近畿技術事務所構内に車いす体験、白杖・アイマスク体験ができる実物大の「交通バリアフリー比較体験コース」を構築しています。
- 令和5年度は8回実施し（府市5、大学1、小学校2）、延べ293名が体験。
令和6年度も5月末現在、大阪府や大阪市職員、大学生、中学生等延べ107名が体験。

【体験の様子(令和6年5月)】

わずかな段差でも前輪が
つかえてしまい、
大変だと分かった。



車いす体験

白杖で点字ブロック
の感覚を掴むのが
意外と難しかった。



白杖・アイマスク体験

近畿分科会の取組（関西国際空港リノベBF検討会）

経緯

- ★ 第1旅客ターミナルビルリノベーションの経緯
国際線1,200万人、国内線1,300万人
(1994年9月開港当初の計画取扱能力)



国際線2,060万人、国内線400万人(2018年度)

計画と実態の
ギャップ解消が必要

- ★ 検討会の実施時期：令和4年12月
 - ・ フェーズ2
(検討会 1回)
 - ＜以後、各フェーズごとに現地確認会を実施＞

- ★ 参加者：近畿分科会委員
+ (状況に応じて)委員外の学識者・障害当事者

検討会メンバー

		委員(役職・氏名)	
【学識者】	大阪公立大学大学院工学研究科	教授	内田 敬
	国立大学法人 和歌山大学経済学部	教授	辻本 清久
	大阪大学	名誉教授	新田 保次
	東北福祉大学総合マネジメント学部 産業福祉マネジメント学科	教授	石塚 裕子
【障害者団体等】	特定非営利活動法人 滋賀県腎臓病者協会	理事長	前野 奨
	一般社団法人奈良県視覚障害者福祉協会	会長	阪巳 壽聖
	社会福祉法人 大阪手をつなぐ育成会	常務理事	小尾 隆一
	NPO法人ちゆうぶ (社会福祉法人 ぼぼんがぼん)	理事	六條 友彰
【自治体】	特定非営利活動法人 D P I 日本会議 障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議 (特定非営利活動法人 自立生活センター・あるる)	運営委員	鈴木 千春
	特定非営利活動法人 兵庫県聴覚障害者福祉協会	バリアフリー部長	渡部 安世
	特定非営利活動法人 W A C わかやま	副理事長	神徳 佳子
	アクセス関西ネットワーク		吉川 ひとみ
【施設設置管理者等】	新設Cチーム企画	代表	塩安 九十九
	関西鉄道協会	専務理事	南條 正幸
	近畿バス団体協議会	一般社団法人大阪バス協会 専務理事	田内 文雄
	近畿ハイヤータクシー協議会	理事	黒田 唯雄
	近畿旅客船協会	事務局長	清水 潤
	神戸旅客船協会	専務理事	井上 誠
	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 経営企画部	統括企画(駅・まちづくり)課長	藤井 太郎
	一般社団法人 全国空港事業者協会	事務局長	南 忠行
	大阪府 都市整備部住宅建築局建築環境課	建築環境課長	高橋 博之
	京都府 建設交通部交通政策課	交通政策課長	笹井 淳
兵庫県 まちづくり部都市政策課	都市政策課長	松井 雅博	
滋賀県 土木交通部交通戦略課	交通戦略課長	小林 道子	
奈良県 県土マネジメント部道路マネジメント課	道路マネジメント課長	楠谷 秀夫	
和歌山県 地域振興部地域政策局総合交通政策課	総合交通政策課長	大塚 敦義	
大阪市 計画開発局計画部交通政策課	広域交通企画担当課長	井上 智仁	
堺市 健康福祉局生活福祉部地域共生推進課	地域共生推進課長	林 大輔	
京都市 都市計画局歩くまち京都推進室	歩くまち京都推進室長	長尾 由紀夫	
神戸市 福祉局障害福祉課	バリアフリー担当課長	前田 将人	
近畿大学	名誉教授	三星 昭宏	
特定非営利活動法人D P I 日本会議	副議長	尾上 浩二	

近畿分科会の取組(関西国際空港リノベBF検討会)

概要

★ 設計の基本コンセプト (<https://www.youtube.com/watch?v=81tDFjAIQFA>)

- ・ 国際線キャパシティー拡大 : 国際線南北一体運用可能なレイアウトに
(面積25%アップ、国際線使用可能スポット増加)
- ・ エアサイドエリアの充実 : 出発までの快適な時間をより多く
- ・ 旅客体験の向上 : より魅力的でワクワクする空港体験を提供

★ 整備スケジュール

- ・ 2020年度 フェーズ0(設計)
- ・ 2021年度 ~ 2022年度 フェーズ1
(新・国内線エリア増築・改修、
国際線到着動線の増築、税関レイアウト変更)
- ・ 2022年度 ~ 2023年度 フェーズ2
(ランドサイド商業エリア、国際エアサイドエリア(中央)、出国審査場の新設)
- ・ 2023年度 ~ 2024年度 フェーズ3
(国際ラウンジエリア、新・入国審査場の新設、保安検査場エリア増築)

大阪・関西万博

- ・ 2025年度 ~ 2026年度 フェーズ4(国際商業エリア(南・北)新設)



近畿分科会の取組（関西国際空港リノベBF検討会）

現地見学会（令和5年11月10日・13日実施）

関西国際空港第1ターミナルビルリノベーション工事
バリアフリー検討会
見学会

Shaping a New Journey
KANSAI AIRPORTS

3Fに出入国審査場及び国際線ラウンジを配置



Shaping a New Journey KANSAI AIRPORTS

※本図はイメージです。



国際線出発エリアを2Fに展開



Shaping a New Journey KANSAI AIRPORTS

※本図はイメージです。



【見学箇所】

- ・国際線出国審査場
- ・国際線出発エリア

フェーズ2工事の実施状況を見学することで、新たな課題がないか、確認を行う。

■本日のルート（60分）

3階 国際線出国審査場 ※写真撮影不可

↓

3階 カムダウンクールダウン

↓

3階 トイレ

↓

移動

↓

2階 免税店エリア ※原則写真撮影不可、一部写真撮影可

見学箇所の見どころ

水色文字：フェーズ1からの更新項目

テーマ	対応
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの機能分散対応 ・一般トイレに手動車椅子で利用できる個室の設置 ・一般トイレに車椅子対応の洗面台の設置 ・個室および洗面にフラッシュライトの設置 ・トイレの色を変えて、使用中かどうか分かりやすく工夫 ・トイレ入り口に音声案内の設置 ・一般トイレ洗面ハンドドライヤー設置高さを車椅子利用者にも使いやすい高さに改善 ・バリアフリートイレ荷物掛けフックの位置を改善 ・バリアフリートイレピクトサインの色を改善
エレベーター・エスカレーター	<ul style="list-style-type: none"> ・主要動線のエレベーターは、構造上15人乗り又は水圧式エレベーター（11人乗り最大）となるため2台設置 ・エレベーター内に二次元バーコードによる聴覚障害者向けの緊急対応システム、体制を構築 ・エスカレーターの音声案内を設置 ・主要動線上に1台しか設置できない箇所は26人乗りエレベーターを設置（フェーズ2で1台設置）
カムダウンクールダウン	<ul style="list-style-type: none"> ・出国審査後に設置（1か所） ・付き強い方もお入りいただけるサイズ ・2名分のファンを設置（突っ伏せるような耐掛けつき） ・車いすの方も通れるよう入口幅を確保 <p>※ブースはphase1と同様の物を採用</p>
サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすいコントラスト、大きさ ・ユニバーサルデザインフォントを採用 ・飛行機の乗降の誘導と施設案内を色分け（誘導：黄色、施設案内：青色）
出国審査場	<ul style="list-style-type: none"> ・温かみのある木目の内装デザインを採用 ・動線を意識つけた天井デザインを採用
自動運転モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・国際線ゲートラウンジエリアで2台運転

当事者の参画による取り組み

バリアフリー教室の実施

◇姫路市立 神南中学校
 日時:令和5年 5月22日(座学)
 令和5年 6月 5日(体験)
 人数: 59名
 内容:車いす使用体験・同介助体験
 視覚障害体験
 バス乗降体験 他

◇姫路市立 坊勢中学校
 日時:令和5年 9月22日(座学・体験)
 人数: 17名
 内容:車いす使用体験・同介助体験
 聴覚障害者による講話
 旅客船乗降体験 他

◇しあわせの村(一般)
 日時:令和5年10月 1日(体験)
 人数:160名
 内容:車いす使用体験・視覚障害体験



職員向けバリアフリー研修の実施

◇神戸運輸監理部職員対象研修
 日時:令和5年10月16日(第1回)
 令和5年11月 6日(第2回)
 人数:第1回 9名、第2回 17名

<概要>
 車いす体験や聴覚障害疑似体験等、毎年テーマを変えて実施。今年度は兵庫盲導犬協会の協力を得て、視覚障害者への理解と対応をテーマに研修を実施した。

講義概要

- ・盲導犬について(講演)
- ・盲導犬訓練デモンストレーション
- ・盲導犬との歩行体験(アイマスク)
- ・視覚障害(弱視)疑似体験
 視野狭窄、白濁状態での読書、書き取り、歩行体験 など
- ・質疑、意見交換



旅客船事業者への教育訓練の実施

◇運航管理者及び乗組員研修
 日時:令和5年11月29日(座学)
 人数:50名

<概要>

旅客船事業者の安全管理体制及び運航管理体制を充実させるための研修会において、高齢者及び障害を持った旅客への応接方法等について講演を行った

◇旅客船における緊急時の非常退船訓練
 日時:令和5年12月11日
 場所:レストランシップ「ルミナス神戸2」

<概要>

年末年始安全輸送総点検に併せ、神戸港発着のレストランクルーズ船において、緊急時を想定した非常退船訓練を実施した。訓練では、一般旅客の他、車いす利用者(当事者)や視覚・聴覚障害者(疑似)の誘導訓練も併せて実施した。訓練後には、当事者をはじめアドバイザーの方と従業員との間で意見交換を行い、当事者目線でのよりよいサポート体制への助言をいただいた。

